

尿路系造影検査同意書

_____年 _____月 _____日 _____時に以下のとおり説明しました。

医療機関名 _____

医 師 _____

同 席 者 _____

〈尿路系造影検査について〉

上記患者に対して、尿路系造影検査に対する説明を行いました。

交付した説明書類：尿路系造影検査を受けられる患者様へ … 造影検査に関する説明書（尿路系造影－3）

医師の説明に対し、十分御理解いただけたなら、以下のいずれかにチェック☑を入れ同意書に署名願います。			
1 現在の病状、今回の尿路系造影検査について説明を受けました。 そして、その内容について <input type="checkbox"/> わかりました。その上で納得して尿路系造影検査を受けることに同意します。 <input type="checkbox"/> わかりましたが、尿路系造影検査を受けることに同意しません。			
2 要望			
日 付	年	月	日
患者氏名（自署）			
代 諾 者（自署）		続 柄	
住 所			
同 席 者（自署）		続 柄	
住 所			
私は、上記の医療行為に関する説明・同意書の控えを受領しました。受領者（ _____ ）			

※ 同意はいつでも撤回することができます。

※ 同意しない、または同意撤回された場合には検査を施行できません。

〈尿路系造影検査を受けられる患者様へ〉
造影検査に関する問診票

当てはまるものの□内にチェックを入れてください。

1. これまでに造影剤を注射して検査を受けたことがありますか。
ない ある → 検査の種類；CT MRI 血管造影・心臓カテーテル検査
尿路造影 胆道造影 その他_____
2. その時副作用はありましたか。
ない ある → 内容；発疹 かゆみ 吐気、嘔吐 その他_____
3. アレルギー性の病気や体質がありますか。
ない ある → 気管支喘息* じんましん アレルギー性鼻炎
花粉症 アトピー その他のアレルギー_____
* 気管支喘息にチェックを入れられた方にお尋ねします。
現在は治療していない 現在も治療を継続中
4. 家族にアレルギー体質の方はありますか。
ない ある → 続柄_____ 内容_____
5. 腎不全、甲状腺機能亢進症（バセドウ病）、甲状腺機能低下症、褐色細胞腫、多発性骨髄腫、テタニー、マクログロブリン血症のいずれかの疾患と診断されたことがありますか。
ない ある → 疾患名_____
6. 現在妊娠中、または妊娠している可能性がありますか。
ない ある
現在授乳中ですか
いいえ はい
7. 経口血糖降下剤（糖尿病薬）を内服していますか。
いいえ はい → 薬品名_____
8. 現在の体重をお書きください。（ ） kg

〈尿路系造影検査を受けられる患者様へ〉

造影検査に関する説明書

- 今回実施する尿路系造影検査は“ヨード造影剤”という薬剤を静脈注射して行う X 線検査です。尿路系造影検査は尿路系の病気の診断のために、一般的に行われている検査です。
- ヨード造影剤は安全な薬剤ですが、稀に副作用が起こることもあります。副作用の多くは、吐き気、嘔吐、じんましん等の軽度のもので、このような軽度の副作用の起こる頻度は5パーセント以下です。しかし、2500人から1万人に1人程度の頻度で呼吸困難、血圧低下等の重い副作用の報告があり、また、10万人から20万人に1人程度の頻度で、死亡に至る副作用の報告もありますが、重篤な副作用に対して当院では、心肺蘇生を含めた適切な処置ができるよう常に準備しています。しかし、症状が重篤な場合は救命できないことがあります。
- 気管支喘息の方など、アレルギー体質の方は副作用発生の頻度が高いといわれています。また、腎不全、重い心臓病、重い肝臓病、重い甲状腺疾患、褐色細胞腫、多発性骨髄腫、マクログロブリン血症、テタニーの方は、症状が悪化するなどの可能性があるため、ヨード造影剤が使えないことがあります。これらの病気をお持ちの方は、**必ず主治医とご相談ください。**
- 糖尿病の方で、ビグアナイド系の経口血糖降下剤を内服されている方は、検査前後48時間（合計96時間）の内服中止が必要です（ただし、緊急検査の場合は主治医判断による）。ビグアナイド系経口血糖降下剤を内服されている方、内服されている可能性のある方は**必ず主治医とご相談ください。**
- 検査当日、問診票の内容や検査担当医師の総合的判断により、検査を中止する場合があります。あらかじめご了承ください。
- 注射をするときに、皮膚の近くにある神経が刺激～損傷され、痛みやしびれが残ることがあります。ごくまれに、後遺症として神経障害が残ることもあります。また、勢いよく造影剤を注入するために、血管外に造影剤が漏れて、腫れることがあります。ほとんどの方に、造影剤注入中から体が熱くなる感覚を生じますが、この感覚は通常数分以内に消失しますので心配ありません。
- 副作用や合併症が生じた場合は、症状に応じて対応いたします。診察・投薬・処置を要したときは、その医療費は通常の診療と同様に健康保険による取扱いとなり、一部自己負担をしていただきます。あらかじめご了承ください。
- 治療時の放射線量によっては、脱毛・発赤などの皮膚障害が起こり得ます。
- じんましんなどの副作用は、数時間から数日後に現れることがあります。帰宅後に副作用が現れた場合は、当院までご連絡ください。 TEL 072-252-3561（大代表）